

貸出金

事業性融資需要の減退、 住宅ローン証券化により減少

貸出金の期末残高は、事業性融資の伸び悩みや住宅ローン証券化による個人ローンの減少などから、前年同期比412億円減少し1兆758億円となりました。なお、証券化による貸出金の減少243億円を除くと、期末残高は1兆1,002億円となります。

貸出金の推移



個人ローン

住宅ローン販売は順調に増加

個人ローンの期末残高は、住宅ローン証券化により、前年同期比115億円減少の3,733億円となりました。なお、証券化の影響を除くと、住宅ローンの期末残高は、ガン保障特約付住宅ローンの販売を中心に前年同期比144億円増加の3,355億円、個人ローンの期末残高は同129億円増加の3,977億円となり、順調に増加しました。

個人ローンの推移



事業者向け無担保融資

無担保融資商品の残高は順調に増加

事業者向けの無担保、第三者保証人不要を特徴とする融資商品の期末残高は、企業の新規事業展開を支援する商品「ベストサポーター」の融資枠拡大や県信用保証協会提携商品の「順風満帆」の販売が好調で、前年同期比32億円増加の89億円となりました。

事業者向け無担保融資の推移

